

さ
み
じ
お
う
せ
ゆ
び
冴え空に 紅葉の橋を 掛けたれば
逢瀬も久し 指合わせたり

令和六年十一月二十七日

大中臣正比呂



今日は小唄「紅葉の橋」のお稽古をお願いした。

浜町帰りのお姐さんは、グラス二杯のワインをバイアスにして唄う。
なかなか上手いもんだなあ。筆者はまだこの唄を歌ったことがない。

新春の歌い初めに採用された。 て、ことー